

令和5年度 シラバス

教科	家庭	科目	子ども文化	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	高等学校用 子ども文化 (教育図書)					
学習の目標	子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、子ども文化の充実を図る能力と態度を育てる。					
評価の観点	- 意欲・関心・態度 子どもと遊び、子どもの表現活動等に関心をもち、子ども文化の充実を目指して積極的に子どもに関わることのできる能力と実践的な態度を身に付けている。 - 思考・判断・表現 子どもと遊び、児童文化財などに関する諸問題について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。 - 技能 子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などの基礎的・基本的な技術を身に付け、児童文化財の作成等ができる。 - 知識・理解 子どもと遊び、子どもの表現活動などに関する知識を、実践的・体験的な学習を通して身に付け、子ども文化の重要性と意義を理解している。					
評価の方法	上記の4つの観点について、授業への出席状況、授業中及び実習中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元			主な学習内容		
前期	第1章 子ども文化とは何だろう 第1節 子ども文化とは 第2節 子ども文化を歴史から見る 第2章 子供と遊び 第1節 遊びと発達 第2節 遊びの現状 第3節 遊びと遊具・玩具 第4節 遊びと伝承 第3章 子供と表現活動 第1節 子供の表現活動の面白さ 第2節 造る・描く 第3節 言語表現活動 第4節 歌う、踊る、演奏する 第5節 表現活動の実際 第4章 子供と文学 第1節 語り 第2節 紙芝居 第3節 絵本			・大人が与える子どもにとって豊かで健康的な文化環境とともに、子どもが主体となって創作する遊びや歌、言葉などを総合した子ども文化の重要性について理解する。 ・遊びが子どもにとって生活の大部分を占め、遊びを通して子どもの心身の発達、健康の保持増進がなされるなどの遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達とのかかわりについて理解し、遊びと遊具の選び方や与え方などを具体的に考える。 ・子どもの表現活動を理解するとともに、それを支える児童文化財の重要性について具体的な事例を通して理解する。 ・語りの効用、絵本の多種多様性、紙芝居の芝居の効果と構成の重要性を理解する。		
後期	第4節 児童文学 第5節 アニメーション 第5章 現代の子供の生活と文化 第1節 テレビ、キャラクター、ゲーム 第2節 子供と年中行事 第6章 子ども文化を支える場 第1節 行政による公的な支え方 第2節 民間企業による支え方 第3節 子供のための各種施設 第7章 子ども文化実習 第1節 子供と関わる前に 第2節 遊びの観察と子供理解			・テレビ、ビデオ、コンピュータ、インターネットなどの情報手段を活用した活動の意義を理解し、長所と短所について考え、適切に活用できるようにする。 ・行政や商業目的で提供されている子どものための各種施設を具体的に取り上げ、それらの意義や活用方法について考える。 ・児童文化施設、社会教育施設、児童文化施設などと連携を図り、地域の子どものとの交流について考え、児童文化財の作成をする。		